

ボランティアセンター通信

点訳ボランティア入門講座を開催しました!

令和6年1月30日～令和6年2月20日の毎週火曜日10:00～12:00に点訳ボランティアサークル点利会のみなさんを講師に迎え、点訳ボランティア入門講座を開催しました。

点字版を使用して、「あ・い・う・え・お」基礎から打ちはじめ、最終日には、文章の打ち込みまで行いました。

点字の打ち方のみでなく、視覚障がいの方の普段の生活等の、「誰のために・何のために必要なものなのか」のお話もしていただきました。



受講生からは「今回の講座で点字には法則があることを初めて知った。視覚障がいは、難しい法則を理解して読まれていることを知ることができてよかった。」
「点字の仕組みは覚えることは難しいけれど、楽しい!少しづつ覚えていきたい。」等の感想が寄せられました。



ボランティア研修会を開催しました♪

令和6年2月29日(木) ボランティア連絡会と共同で、ボランティア研修会を開催しました。ボランティア研修会は中区社協登録ボランティアグループ、個人ボランティア等の活動の発展や向上を目指すために、毎年開催されています。

今回の研修会は、佐伯区社協登録ボランティアグループの車いすユーザーのつどい「で・あるーく」の方々に講師を迎え、「バリアフリーの取り組み、当事者の体験談や思い」「車いすの使い方」をお話いただきました。



参加者からは「当事者の方々から、直接困っていることを聞けて、今後の日常生活の中で役立てればと感じた。」「まずは、声をかけることが大事なんだと感じた。」等の感想が寄せられました。



令和6年度ボランティア活動保険のお知らせ

ボランティア活動保険は、ボランティア活動中の様々な事故によるケガや往復途上の事故、損害賠償責任(相手を誤ってケガさせる、活動先の物を誤って壊してしまう等)を補償する保険です。現在加入中のボランティア活動保険の補償期間は令和6年3月31日迄です。ボランティア登録をしている社会福祉協議会で、更新手続きを行ってください。

- ①基本プラン..... 350円
- ②天災・地震補償プラン..... 500円
- ③特定感染症重点プラン..... 550円

基本プランと天災・地震プランと特定感染症重点プランの違い

地震・津波・噴火に起因する死傷に対し、基本プランでは補償対象外、天災・地震補償プラン、特定感染症重点プランでは補償対象となります。また、特定感染症重点プランでは、特定感染症に感染した際に補償開始日より補償されます。

申し込み
問い合わせ
広島市中区社会福祉協議会/中区ボランティアセンター
〒730-0051 広島市中区大手町4-1-1 大手町平和ビル5階
TEL.082-249-3114 FAX.082-242-1956
✉ naka@shakyohiroshima-city.or.jp Ⓜ http://shakyo-hiroshima.jp/naka/



この広報誌は共同募金の配分金及び一般財団法人多山報恩会の助成金により作成しました。

まちづくり No.110

広島市中区社会福祉協議会
令和6年3月発行

〒730-0051 広島市中区大手町4丁目1番1号 大手町平和ビル5階
Tel.082-249-3114 FAX.082-242-1956
Eメール naka@shakyohiroshima-city.or.jp



中区社協HP

Facebook

千田地区地域資源マップ作り 取組紹介



千田地区では令和5年9月から千田地区社会福祉協議会を中心として、国泰寺地域包括支援センター、障害者基幹相談支援事業所等、福祉機関と協力して、千田に住まわれている方の暮らしの一助となるための地域資源マップ作成に取り組んでいます。



令和6年度中の完成と地域への配布を目指し、マップ作成のための話し合いの場(作業部会)を設置しています。

第1回作業部会では、他市町で作成されているマップを見て、主に誰に見てもらおうか、そのためにはどのような地域資源情報が必要かを確認し、千田地区で作成する際の参考としました。

第2回、第3回作業部会では、地域サロン等の福祉の情報に限らず、幅広い情報の掲載、例えば地域行事を広く知っていただくため、町内の掲示板の位置情報を掲載し、地域行事へ参加する方を増やしたり、地域の活性化に繋げることを検討しました。

今後も話し合いを重ね、マップを一目見て必要な情報を知ることができるようなレイアウトの工夫等、協議を重ねながら完成を目指しています。

千田地区社会福祉協議会 村上会長、杉村副会長、吉村副会長にインタビューをしました。

◎地域資源マップ作成の取組で難しさや課題があれば教えてください。

▲伝えたい情報は多くあり、見やすくするためのレイアウトの思いがあるが、掲載できるページ、予算に限りがあるため、優先順位を考えながら妥協しなければならないことがある。

◎地域資源マップ作成の取組の思いを聞かせてください。

▲千田地区は集合住宅が新設され、若い世代の方たちの転入が多い。千田地区へ転入された方が地域の情報を知るためのツールになれば良いと思う。マップを見た方が生活の役に立つ、必要な情報が掲載されている、と感じられる物を作成したい。完成したマップを他の地域の方が見た時に、自分たちの所でもこういうマップを作りたい、と感じてもらいたい。



中区ケアマンの会(男性介護者の集い) はじめました!

男性を対象とした、介護に関する情報交換や困りごとを語り合える場をつくりました。

一人ではしんどい介護のことなど、お話ししてみませんか?
お気軽にご参加下さい!

- 日時** 毎月第一金曜日 13:00 ~ 14:30 ※祝日は除く
- 場所** 中区地域福祉センター5階 小会議室 (中区大手町4-1-1) ※会場は変更になる場合がございます。
- お問合せ** 悠々タウン江波 中区在宅介護指導員(渡辺) 082-296-4880 (共催) 中区社会福祉協議会 082-249-3114



※初めて参加される方は事前にお問い合わせ下さい。

第20回

あなたのまちの

元気さん紹介

今回の元気さん

中区個人登録ボランティア
尺八演奏者
中村 亮太さん



18歳のときに尺八と出会い、その音色の奥深さと演奏の自由さに魅力を感じ、現在では、広島を中心に尺八演奏のプロとして活動されています。

尺八の演奏をたくさんの人に聴いてほしいという思いから、中区個人登録ボランティアに登録され、地域のサロンや高齢者施設、デイサー

ビス等で演奏を披露されています。

ボランティア活動を始めようと思ったきっかけ

尺八はその音色だけで「ああ、懐かしい!」と思ってもらえる楽器です。尺八の特性を活かして社会に役立てる1つの方法だと思いました。

心がけていること
曲を吹くときには聴いている方

の表情やわずかな体の動きをみてテンポを変えています。また反応を見て選曲やおしゃべりの内容も変えます。

嬉しかったことや、難しく感じていること

「お友達に聞かせたいから別の場所に呼びたい」と言われることが最近増えました。それは嬉しいのです

が、逆に1度聴いてもらわないとなかなか興味を持って頂けないのは難しいところだと思っています。

今年の目標や抱負

人前で演奏をしない日が1日でもなくなるという思いを持っています。毎日演奏。そのためにボランティアもたくさんしたいなと思います。

ありがとうございました。

「ひろしまLMO」に中区から神崎学区、吉島東学区、江波地区、本川地区、幟町地区の5地区が認定されました。※令和6年2月29日現在

「広島型地域運営組織」(通称:ひろしまLMO)とは、地域住民が楽しさややりがいを感じながら、市民主体でのまちづくりを進めることができるように、概ね小学校区単位で、地域の様々な団体(町内会や福祉団体、PTA等)の代表者で組織する、新しい地域運営組織です。

「ひろしまLMO」に認定された地区では、若い世代に自分たちの地域に関心を持ってもらい、将来的には地域を維持していくための担い手となってもらうため、既存の地域行事の活性化や新設をはじめ、地域課題について意見を出し合い、解決に向けて取り組んでいます。

地域における「ひろしまLMO」の名称

- 神崎学区「神崎学区地域運営委員会」(令和5年8月3日 認定)
- 吉島東学区「吉島東学区孫子老のまちづくり協議会」(令和5年10月2日 認定)
- 江波地区「江波地区地域運営委員会」(令和5年12月1日 認定)
- 本川地区「本川LMO」(令和6年1月23日 認定)
- 幟町地区「幟町地区まちづくり委員会」(令和6年2月20日 認定)

現在、中区では、「ひろしまLMO」に取り組む準備をされている地区が増えています。

地域防災・福祉フォーラム2024 ~自分たちのまちは自分たちで守る!~を開催しました

令和6年2月17日(土)にJMSアステールプラザにて「地域防災・福祉フォーラム2024 ~自分たちのまちは自分たちで守る!~」を開催しました(中区自主防災会連合会、中区役所、中消防署とともに主催)。

当日は、区内各地区より400名以上の方々にお集まりいただき、地域防災研究所所長の大西賞典様を講師に迎えて、「南海トラフ巨大地震発生!~さて、あなたは何を?~」と題した講演をしていただきました。令和6年能登半島地震が発生したばかり

でもあり、多くの方が当事者の視点で、南海トラフ地震への備えを今一度深く考える機会とされたのではないかと思います。

改めて本フォーラム開催に係る関係各所のご協力に深く感謝するとともに、社協も引き続き「安心して住み続けられる中区のまちづくり」への参画を通じ、地域の防災力向上に協力して参ります。



令和5年度に表彰を受けられた方々

例年、長きにわたり福祉活動に功績のあった方々が表彰を受けられており、今年度も中区社協から以下の方々が受賞されています。受賞された皆さまおめでとうございます。

全社協会長表彰

和田 高明 様(幟町地区社協)

広島市長表彰

幟町地区社会福祉協議会 様
竹屋地区社会福祉協議会 様

県社協会長表彰

岡本 征宏 様(白島地区社協)

功野 博子 様(幟町地区社協)

中田 道夫 様(本川地区社協)

山本 佳宏 様(神崎学区社協)

曾川 恵二 様(神崎学区社協)

沖 孝夫 様(神崎学区社協)

江郷 裕 様(神崎学区社協)

市社協会長表彰

河野 忠明 様(幟町地区社協)

高櫻 貞光 様(吉島学区社協)

西本 利枝 様(江波地区社協)

県共募会長表彰

縄手 淳子 様(白島地区共募委員会)

賛助会員へのご加入をお願いいたします!

中区社協では、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らしている「福祉のまちづくり」の実現に取り組んでいます。お寄せいただきました賛助会費の1/2は地区(学区)社協が

行っている「ふれあい・いきいきサロン」など地域に密着した活動に、もう1/2は中区社協が行っているボランティア活動の推進などの福祉事業に活用しています。

会費 (年間) 一口 **3,000円**

※何口でもご加入いただけます

くわしくは中区社協(082-249-3114)までお問合せください。

●令和5年度 賛助会費実績額(令和6年2月29日現在)

732口 2,201,000円

今年度も多くの方々にご加入いただきました。ご協力いただきました皆さまに厚くお礼申し上げます。



赤い羽根共同募金にご協力ありがとうございました!

今年度も広島市中区共同募金委員会では、「自分の町を良くするしくみ」を全国統一スローガンに赤い羽根共同募金運動(期間:令和5年10月1日~12月31日)を実施し、**5,185,506円**(令和5年12月31日現在)の募金をいただいております。ご協力ありがとうございました。

社会の変化のなか、赤い羽根共同募金は、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう、さまざまな地域福

祉の課題解決に取り組む民間団体を応援する、「じぶんの町を良くするしくみ。」として、取り組まれています。

赤い羽根共同募金は、みなさんのお住まいの地域で幅広く活用されています。中区社会福祉協議会ではお寄せいただいた募金は、ひとり親家庭の子どもや障がいをお持ちの方、高齢者等の交流活動など、皆さんの住むまちの地域福祉活動へ活かされています。

車いすの貸し出しをしています

緊急かつ一時的に在宅で車いすを必要とする方に対して、原則2か月間を期限として無料で貸し出しています。介護保険で貸与を受けるまでの間や、旅行等にも利用できます。

ご利用の際は、事前に下記までご連絡ください。



中区社会福祉協議会 ☎082-249-3114

レクリエーション用品の貸出について

地域福祉活動を行う個人又は団体に対し、レクリエーション用品の貸出を行っております。

地域でのサロンや研修会、イベントなどでご活用ください。貸出物品や貸出方法につきましては、中区社会福祉協議会までお問合せください。



あたたかいご寄附をありがとうございました

皆さまのご寄附は、福祉のまちづくりの推進のために、大切にさせていただきます。【寄附金】吉島中学校2学年様、栗栖 慎二様(令和5年12月1日~令和6年2月29日現在) 【物品寄附】土井 毅様、匿名様(未使用ハガキ、未使用切手多数等)